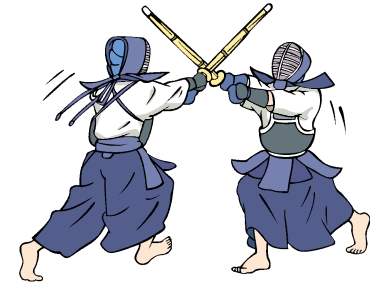


3 学年通信

第29号

県中体連春季大会に出場して①・・・

4月下旬～5月上旬にかけて行われた郡市中体連春季大会の結果から、今回の県中体連春季大会（6月）への出場が決まった部活動（団体・個人）が複数ありました。先週末で全ての部活動の大会が終了しました。春の大会は、冬季練習の成果が発揮される大会だと言われています。今回の結果が全てではありませんが、一つ上の舞台を経験した生徒達からの感想（コメント）を紹介します。



～出場者からの感想（コメント）①～

★剣道部部长（斎藤彩汰） 県春季団体ベスト16 個人ベスト8

今回の県中体連春季大会は、団体では、ベスト16で負けてしまったので、とても悔しいです。1本差での負けでした。まだ夏の関東大会を狙える位置にはありませんので、練習を怠ることなく一生懸命練習に励みます。個人戦では、初の県ベスト8に入り、夏の県総体のシード権を持ってこられたことはとてもうれしい限りです。これから夏まで気を抜くことなく、稽古では「身を粉にして」練習したいです。

★女子ソフトテニス部（池田真菜） 県春季個人1回戦出場

今回の試合（1回戦）では、1ゲームも取れず負けてしまいとても悔しかったです。練習通りのプレーが全然できず、練習の時から試合での積極性や集中を意識して取り組むことの大切さを感じました。これからは、日々の練習から一球入魂を心掛けて、夏の総体では絶対に後悔しないように頑張りたいです。

★女子ソフトテニス部（小林優衣） 県春季個人1回戦出場

郡市大会とちがい、県大会はシード以外のペアでもとても強く、どの選手も気合がすごかったです。試合前のアップの乱打でも自分から積極的に前に出て打っていたのに比べ、私は積極的に打ちに行くことができなかつた。どの選手も試合中は力一杯大きな声を出したり、一本一本気持ちを込めて丁寧に打っていて、格好良かったです。県大会に出場する学校や選手の意気込みや迫力を感じ、とても勉強になりました。

★バレーボール部部长（金井怜奈） 県春季ベスト16

私たちバレー部は、県大会に向けて技術面を磨いてきたのはもちろん、仲間とのコミュニケーションを大切に練習に励んできました。県大会では、試合に出ている人たちだけでなく、応援している人たちとも一丸となりプレーができました。夏の総体では、さらに部員の結束を強め、一致団結！より高い目標をもち頑張ります。

★バスケットボール部部长（鈴木菜々美） 県春季団体1回戦出場

県春季大会に向けて、チーム内で1人ひとりが何をすればよいのかを考えて、1つひとつのプレーに対して全力で取り組みました。今回の敗戦では悔しい思いもりましたが、課題や改善点も見つかり、多くのことを学びました。夏の総体に向けて、バスケット部全員で一致団結。春の県大会で学んだことを、次に生かしたいです。

★陸上部（堀口花道） 県春季3000m優勝（9分06秒）、1500m2位（4分04秒）

今までの練習の成果が出せたのでよかったです。1500mでは、自己ベストを更新することができましたが、中之条中のライバル選手に負けてしまったのが悔しいです。一日一日を大切にして日々の練習への意識を高め、夏の総体までには、さらに力を伸ばし良い結果が残せるように頑張りたいです。

★陸上部（花島央雅） 県春季3000m4位（9分38秒）

僕は、県春季大会に出場して日々の練習の重要性を改めて感じる事ができました。めざす結果には、すぐには到達できません。部活動では、体力の向上だけでなく、弱い心に打ち勝つような強い意思を養い続けていくことで、いつか結果として実るものです。今回の出場経験と得た自信を無駄にしないように、一日一日の練習を大切にしていきたいです。

続きは次号にて紹介します！

